

令和5年度 全国安全週間メッセージ

三重労働局長 金尾 文敬

全国安全週間は、労働災害防止活動の推進を図り、安全に対する意識と職場の安全活動のより一層の向上に取り組む週間です。昭和3年に第1回が実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、一度も中断することなく続けられ、本年で第96回を迎えます。労働災害を防止するため、産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的としています。

この間、事業場では労使が協調して労働災害防止対策を展開し、労働災害は長期的に減少してきました。しかし、近年は、就業人口が高齢化し、高年齢労働者の労働災害や、転倒や腰痛などの労働者の作業行動に起因する労働災害が顕著に増加しています。

令和4年の三重県における労働災害の死亡者数は、対前年比で8人減少して9人となり、過去最少となりましたが、休業4日以上の死傷者数では、対前年比で116人増加して2,317人となり、本年に入っても増加傾向であることから、予断を許さない状況が続いています。

このような状況下で労働災害を減少させ、労働者が安全に働くことができる職場環境を築くためには、本年3月に策定された三重労働局第14次労働災害防止計画に基づき、労使双方が労働災害防止のための基本ルールを徹底し、一丸となった取組が求められるところです。そのため、今年度は、

高める意識と安全行動 築こうみんなのゼロ災職場

のスローガンの下、全国安全週間を実施します。

三重労働局では、死亡災害の撲滅と死傷災害2,000人未満を目標として、現在、「死亡災害撲滅・アンダー2,000みえ推進運動」を展開しています。引き続き、本推進運動へのご賛同とご協力、そして更なる実践をお願いいたします。

この機会に職場における労働災害防止活動の大切さを再確認し、積極的に安全活動に取り組みましょう。

第96回全国安全週間

期 間：令和5年7月1日（土）から令和5年7月7日（金）

準備期間：令和5年6月1日（木）から令和5年6月30日（金）

[全国安全週間 実施要綱](#)

[検索](#)

労働災害発生状況



令和4年 死亡災害発生状況

発生日	業種	職種	年齢	事故の型	発生状況
2月	木造家屋建築工事業	大工	50代	墜落・転落	被災者は、新築の建築工事現場において、地面から高さ3.85mに長さ4m、幅0.3mの作業床を設け、石膏ボードを張っていた際、作業床から地面に墜落した。
4月	化学工業	作業員	20代	墜落・転落	被災者は、反応器の内部を縄梯子で上っていたところ、約10mの高さから墜落した。
7月	その他の事業	作業員	50代	はさまれ・巻込まれ	被災者は、ピット内でエレベータの点検をしていたところ、搬器に挟まれた。
8月	土木工事業	作業員	70代	高温・低温物との接触	除草作業を行っていた被災者が倒れているところを発見され、熱中症による死亡と診断された。
8月	警備業	警備員	70代	激突され	被災者は、傾斜地の路肩に社用車を止めていたところ、動き出した社用車に激突された。
9月	土木工事業	土工	30代	高温・低温物との接触	被災者は、軽作業に従事中、体調を崩したため先に帰るよう指示された後、駐車場で仰向けに倒れていたところを発見された。
11月	土木工事業	作業員	40代	崩壊・倒壊	被災者は、荷卸したL型擁壁が倒れ、他の擁壁との間に挟まれた。
11月	その他の建設業	作業員	30代	崩壊・倒壊	被災者は、ボイラーの排ガス冷却塔内において、堆積物を除去する作業を行っていたところ、崩壊した堆積物に埋もれたもの。
11月	その他の建設業	作業員	50代	崩壊・倒壊	被災者は、ボイラーの排ガス冷却塔内において、堆積物を除去する作業を行っていたところ、崩壊した堆積物に埋もれたもの。

STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン (5月1日～9月30日)

熱中症予防対策の取組を進めましょう。